

造血幹細胞移植患者支援センター

1. スタッフ構成(2026年3月時点)

- 名和 由一郎(がん治療センター長、改善推進本部長、輸血部長)
- 中矢 由紀
- 池田 麻衣

2. 認定資格取得(2026年3月時点)

資格名	資格取得者
日本造血・免疫細胞療学会造血細胞移植認定医	名和由一郎
日本輸血・細胞治療学会細胞治療認定管理師	名和由一郎
日本造血・免疫細胞療学会認定造血細胞移植コーディネーター(HCTC)	中矢由紀、池田麻衣
労働者健康安全機構両立支援コーディネーター	中矢由紀

3. 運営方針

2015年に厚生労働省の造血幹細胞移植医療体制整備事業推進拠点病院に認定され、その柱の1つである地域連携事業を行っています。センターでは、専従のHCTC(造血細胞移植コーディネーター)を中心に、県内外の他施設からの移植症例の受け入れやセカンドオピニオンに対応し、患者さん、ご家族、関係者からの相談などに対応しています。血縁、非血縁のドナーコーディネートも行い、患者さんが円滑に移植治療を受けられるように努め、退院した後も社会復帰ができるように支援していきます。

4. 実績

<業務内容>

- ・他施設からの移植希望患者の受け入れ対応
- ・自施設、他施設の患者さんからの相談対応
- ・紹介患者の前医における化学療法中の副作用や対応、キーパーソン、就労状況、移植に対する理解程度等の情報収集
- ・地域の医療機関からの相談対応
- ・血縁者間造血幹細胞移植ドナーのコーディネート
- ・非血縁者間造血幹細胞移植ドナーのコーディネート
- ・治療と仕事の両立支援に関する相談対応

<実績>

■ 各種実績

	2024	2025
LTFU(長期フォローアップ)外来	68	61
非血縁者間造血幹細胞移植ドナー確認検査	17	30
非血縁者間造血幹細胞移植ドナーの最終同意面談立ち合い	1	8
血縁ドナーとの面談及びHLA検査実施	13	20
血縁ドナーへの電話対応	15	21
他院からの採取前健診/採取後健診	0/0	4/0

【院外施設からの同種移植の紹介】

- ・松山西病院:1件
- ・市立八幡浜総合病院:1件
- ・四国がんセンター:1件

【院外施設からの自家移植の紹介】

なし

【両立支援】

- ・社会保険労務士との面談:0件
- ・ハローワークとの連携:1件
- ・療養・就労両立支援指導料を取得:0件
- ・会社と直接の面談(連携):1件

■ 両立支援の症例実績

No	年齢	性別	診療科	紹介経路
1	20代	男性	血液内科	家族・本人
2	20代	女性	血液内科	本人
3	40代	男性	血液内科	看護師
4	40代	女性	血液内科	看護師
5	40代	女性	脳神経外科	医師・看護師
6	40代	男性	呼吸器内科	医師
7	40代	男性	消化器外科	医師
8	50代	男性	血液内科	本人
9	50代	男性	血液内科	医師・看護師
10	50代	男性	呼吸器内科	家族
11	50代	男性	腎臓内科	本人
12	50代	男性	消化器外科	看護師
13	50代	男性	消化器外科	看護師
14	50代	男性	消化器外科	医師
15	50代	女性	消化器外科	医師
16	60代	男性	循環器内科	医師
17	60代	男性	救急科	本人
18	60代	男性	呼吸器内科	本人

5. 2026年度目標

- (1) 移植後患者の情報共有を行う場をつくります。
- (2) 移植後ワクチン接種について、ブラッシュアップする機会を設けます。
- (3) 患者さんの両立支援に関して院内に周知していきます。
- (4) 療養・就労両立支援指導料の算定を年間4件以上とします。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 諫見俊宏、中瀬浩一、橋田里妙、土居優希、宗石愛花、森悠記、後藤有基、上田怜、板橋今日子、佐伯恭昌、名和由一郎。同種造血幹細胞移植を実施した血液疾患患者の安静時心拍数が生存率に与える影響。第47回日本造血・免疫細胞療学会総会。大阪(2025.2.27-3.1)